



議会だより

No. **229**

2025.4.30



市議会ホームページ

● 令和 7 年 3 月定例会 ●

編集発行：加茂市議会 〒959-1392 新潟県加茂市幸町2丁目3番5号

TEL：0256-52-0080（代表） FAX：0256-53-4684

HP：https://www.city.kamo.niigata.jp/ E-mail：gikaijimu@city.kamo.niigata.jp



議会だより発行に携わる広報広聴特別委員

加茂市議会による6月議会報告会（座談会）

次の通り開催を予定しています！

- 日時** 令和7年7月5日（土）午前10時～
- 場所** 加茂市役所 5階 全員協議会室
- 主催** 加茂市議会
- 申込先** 加茂市議会事務局 ☎52-0080（内線512）

6月定例会は6月12日（木）～6月23日（月）を予定しています。

加茂市議会の YouTube チャンネルを開設しました

加茂市議会からのご案内や一般質問等、議会の活動を皆さまにお届けいたします。



YouTube

加茂市議会

🔍 検索

誌面や加茂市議会へのご意見・ご要望がありましたら 加茂市議会事務局 ☎52-0080（内線512）まで

令和7年度 加茂市一般会計及び 各会計当初予算について

予算審査にかかる

委員会構成

加茂市議会では、令和7年度当初予算の審査については2つの特別委員会を設置し、両委員会とも議員全員で構成し、審査を行いました。

予算審査第1特別委員会においては、産業民生常任委員会が所管する各課の歳出についての一般会計予算及び国民健康保険特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予算、宅地造成事業特別会計予算、介護保険特別会計予算、水道事業会計予算、下水道事業会計予算を審査しました。

予算審査第2特別委員会においては、一般会計歳入、総務文教常任委員会が所管する各課の一般会計歳出についての予算を審査しました。

各会計予算と

採決の結果

予算審査第1特別委員会における採決、予算審査第2特別委

員会における採決については、次のとおりです。なお、本会議における採決の結果については、本紙12ページの議案等審議結果をご覧ください。

第3号議案 令和7年度加茂市一般会計予算

予算総額128億2100万円、前年度に対して7・0%増。

予算審査第1特別委員会所管分及び予算審査第2特別委員会所管分における採決は、全会一致により可決。

第4号議案 令和7年度加茂市国民健康保険特別会計予算

予算総額25億6121万円、前年度に対して1・4%減。

委員会における採決は、全会一致で可決。

第5号議案 令和7年度加茂市後期高齢者医療特別会計予算

予算総額4億525万円、前

年度に対して2・0%増。

委員会における採決は、全会一致で可決。

第6号議案 令和7年度加茂市宅地造成事業特別会計予算

予算総額1億4733万円、前年度と同額。

委員会における採決は、全会一致で可決。

第7号議案 令和7年度加茂市介護保険特別会計予算

予算総額34億9011万円、前年度に対して3・4%増。

委員会における採決は、全会一致で可決。

第8号議案 令和7年度加茂市水道事業会計予算

収益的収支 水道事業収益5億8352万円、水道事業費用5億974万円。

資本的収支 資本的収入9725万円、資本的支出1億5324万円。

留保資金 過年度分1億8356万円、当年度分8177万円。

委員会における採決は、賛成10名、反対1名、賛成多数によ

り可決。

第9号議案 令和7年度加茂市下水道事業会計予算

収益的収支 下水道事業収益13億1000万円、下水道事業費用12億5659万円。

資本的収支 資本的収入9億3569万円、資本的支出13億4776万円。

留保資金 過年度分1284万円、当年度分3億6158万円。

委員会における採決は、賛成10名、反対1名、賛成多数により可決。

財政構造

令和7年度加茂市当初予算の実質公債費比率は9・2%、令和6年度見込みに対し0・3%減、将来負担比率は67・0%、令和6年度見込みに対し0・6%増、市債残高は91億円、財政調整基金残高は13億6000万円の見込みです。

一般会計及び各特別会計の当初予算の合計額は、194億2492万円、昨年度に対し5・0%増です。

予算審査第1特別委員会 (産業民生関係)

こんな質問がありました

地域子育て支援センター事業

Q 地域子育て支援センターが実施する子育て広場マルシェの内容について伺う。

A 文化会館を会場に、未就学児の親子に子育て情報を提供して交流を深める。内容は子育て応援パスポートのPRや参加店募集、育児用品のリサイクル、加茂農林高校の農作物等の販売を行うイベントほか。

子育て・健康づくり拠点複合施設

Q 2年前から概算費用16億円が示めされているがその算定根拠はなにか。

A 必要な機能を満たす最小限の設備及び既存施設の除却費を試算している。面積は該当する施設を参考に2800㎡とした。

Q ハザードマップで浸水リスクが指摘されている地域に建設するのは問題ではないか。

A 浸水しにくい造りなど、災害に強い施設を目指したい。

Q 設計・施工一括発注方式では地元事業者が適正価格で受注しづ

らいのではないか。

A 募集要項は作成中であり、まだ定まっていない。参加資格の中で加点要素として地元事業者の活用を検討することも考えられる。ただし、品質やノウハウの確保など、一定のバランスを取る必要がある。

有害鳥獣対策

Q 鳥獣被害防止対策協議会への貸付金の内容について伺う。

A 事業の主なもの、遠隔操作の大型オリ2台240万円、それらを操作する機械130万円、猿の調査用GPS首輪4機120万円である。

予算審査第2特別委員会 (総務文教関係)

こんな質問がありました

移住・定住促進事業

Q 体験ツアーに参加するのはどのような方か。

A 移住に関心を持つ方は、自然環境を求めて訪れる傾向が強い。

また、近隣地域出身者や、他の自治体の移住体験ツアーに参加したことのある方も多い。

Q 参加した方の感想はどのような

ものか。

A アンケートでは、加茂市は商店街や加茂山公園など駅周辺でコンパクトにまとまっており生活しやすいという意見をいただいている。

部活動地域移行推進事業

Q 部活動地域移行コーディネーターはどのような役割を担うのか。

A 令和5年度から段階的に土日、休日の部活動を地域の活動に移行しているが、令和7年度は移行の最終年度になる。段階的に移行は進んでいるものの、コーディネーターを採用し、土日、祝日の部活動移行を完了させたい。また、将来的に平日も移行させるのかなどの問題を一緒に考えていく役割を担う。

学校給食良質米購入費補助金

Q 補助額60万円の根拠は地元産コシヒカリとコシイブキの価格差であるが、米価の高騰により不明瞭になっている。今後の対応はどうするのか。

A コシイブキの単価もかなり上がってきているが、現状では良質米購入費補助金の範囲で供給できるようにしたいと考えている。

災害対策推進費

Q 自主防災組織設立に係る資機材整備事業補助金の詳細を伺う。

A 自主防災組織が立ち上がった際に、人口に応じて資機材の整備をするための補助をするもの。携帯用無線機やヘルメット、土嚢袋など備蓄品を購入する際に補助する。



予算審査第1特別委員会 起立採決の様子

3月定例会 議案審議

開会 令和7年3月6日
閉会 令和7年3月19日

3月定例会の議案等は

市長提出議案… 34件
議員提出議案… 6件
請願… 1件
陳情… 3件

今号は3月定例会の議案から5つをピックアップしました。全ての議案等の内容と結果は、加茂市ホームページをご覧ください。

PICK UP

加茂市議会の議員の定数を定める 条例の一部改正（議員発案）

これは、加茂市議会の議員の定数を定める条例のうち、加茂市議会の議員の定数15人を12人に改正する議案です。

この議案については後に記載されている継続審査を求める動議が発案され、これが可決されたことにより本議会においては採決は行われませんでした。

※ Q…質問 A…答え

PICK UP

加茂市議会の議員の定数を定める条例の 一部改正に対して継続審査を求める動議

これは、先に発案された加茂市議会の議員の定数を定める条例の一部改正案について、議会運営委員会にて審査や調査を継続して行うことを求めるものです。

質疑

Q 議員定数の削減案に賛成か反対かではなく、なぜ継続審査を求めるのか。

A 定数の削減は、常任委員会や特別委員会の構成、議会運営の在り方に大きな影響がある。現段階ではこれらの影響について十分な検討がなされていないため継続審査を求める。

賛成討論

・ 次回の選挙は2年後である。2年間の間に有意義に議論するべき。

反対討論

・ 今回提出した定数3人減案は、定数を削減することに賛成する議員の中である程度の合意が得られていたものである。また、今議会で削減案を提出するという点についても、早い段階で話がaggっており、半年前の議会運営委員会でも確認がなされていたものである。削減を目指す議員の間では同意ができていたものと理解している。

採決

賛成9名、反対3名
賛成多数により可決

PICK UP

令和7年度加茂市一般会計予算に 対する修正動議（議員発案）

これは、令和7年度加茂市一般会計予算のうち、保健衛生総務費の子育て・健康づくり拠点複合施設整備事業費1850万円を削除する議案です。

賛成討論

- ・現時点で公共施設再編アクションプラン案はまだ示されていない。今後の加茂市内の公共施設の全体像を知らないままに、事業費16億円規模の施工につながる基本設計費用1850万円には賛成できない。
- ・長期財政シミュレーションに示された収支改善目標について、令和7年度予算において既に目標値から大きく外れ、一般財源の収支改善は不十分である。この状況下で16億円規模の事業を進めることが財政上問題があるのか否かが不明瞭である。
- ・事業スキームとしてDB方式を採る場合、地元の関連事業者に適正価格での仕事が発注されない可能性が高い。

反対討論

- ・都市計画マスタープランとの整合性が十分に取れていないのではないかと。また、アンケート等からは市民のニーズが明確に読み取れない。
- ・提供するサービスの需要の有無、当該施設に対する投資の費用対効果が十分に示されていない。
- ・加茂市のハザードマップにおいて、浸水の危険がある地区に新設を検討している点について、理解ができない。
- ・地域保健法の改正により義務的施設となった保健センターが未整備のため早急に整備する必要がある。
- ・既存の公共施設の機能を集約するにあたり、議会、市民に対して十分な説明をすること

を条件に、修正動議に反対をする。

- ・既存施設の老朽化が激しく、早期対応が必要である。
- ・仮に既存施設を修繕し、使用を続ける場合、修繕費用が増

PICK UP

令和7年度一般会計予算に対する 附帯決議（議員発案）

これは、令和7年度加茂市一般会計予算の議決について議会の要望を表明し、これを附帯させ予算執行の際の留意事項とする議案です。

本議案で掲げられた要望の要約は次の通りです。

- 長期財政シミュレーションについて、再シミュレーションを行い実現性の高い内容に修正し、これを示すこと。
- 子育て・健康づくり拠点複合施設の募集要項の作成及び事業の実施にあつては、地元事業者が適正価格をもって関わることができるよう十分な配慮を行うこと。

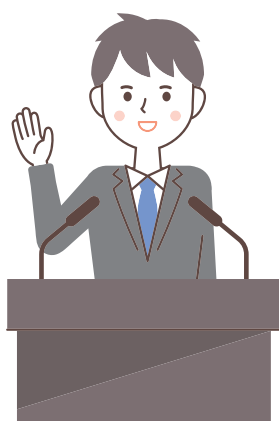
採決

賛成3名、反対9名
賛成少数により否決

大するため機能を集約して施設を新設するべきである。

討論なし

全会一致により可決



PICK UP

年金積立金を活用して安心して生活できる 公的年金を求める意見書（議員発案）

これは、年金積立金を活用して安心して生活できる公的年金を求める請願が、産業民生常任委員会による審査の結果採択されたことを受け、本会議にて意見書の提出を行うという議案です。

賛成討論

・現役世代の負担も増えることから、積立金を活用して最低限の生活保障を充実させる有効な手段である。

・今の物価高騰という情勢下では、年金受給額が低い方ほど生活に不安を抱えることになる。積立金を原資に支給額の調整を行うべきである。

反対討論

・将来世代のためにこの積立金は確保しておかなくてはならない。年金や社会保障を含めた根本的な議論をしなくてはならない。

採決

賛成10名、反対2名
賛成多数により可決



12月議会報告会（座談会）

令和6年12月定例会の議案をもとに、令和7年1月18日（土）に議会報告会を開催しました。

これまで6回行った報告会は平日の夜に外部会場で開催していましたが、今回は参加者の意見・アンケートをもとに、土曜日の午前中に市役所5階の全員協議会室に時間・会場を変更しました。ここではその様子をお伝えします。

第92号議案

令和6年度一般会計補正予算

（ふるさと納税について）

□参加者

ふるさと納税は大きく増えたが加茂市から出ていく金額は？

■議員

加茂市から市外に寄附された税金額は約1000万円。本年度のふるさと納税額は10億円の見込み。うち加茂市の財源となるのは5億円のため、差し引きして4億9千万円増える見通しである。

第92号議案

令和6年度一般会計補正予算

（児童クラブ運営業務委託について）

□参加者

契約期間が3年間と短く感じるが一般的なのか？

■議員

加茂市から3年間で募集をかけている。基本的には3年経った後も委託していく方針だが、その間の実績など踏まえ、次の契約を継続できるか判断していくとのこと。

□参加者

支援員の人材不足での委託ということだが、補助員としてシルバー人材センターに依頼している点はどう変わるのか？

■議員

市の方針としては業務委託は今後の安定的な人材確保のため。現状担っている方たちが希望すれば、原則継続していただく。シルバー人材センターについては、受託事業者が外部委託先として補助員の依頼をすることもあると思われる。

議会活動トピックス

教育委員会との 意見交換会

1月10日（金）に加茂市教育委員会、教育委員の方々をお招きして、「学校教育についての意見交換会」を開催しました。

教育委員会より加茂市教育ビジョンについての説明があり、加茂市の現状と課題や加茂市で育てる子ども像についての説明がありました。子どもたちの特性や関心・意欲は様々であるなど、相互に見識を深める機会となりました。



意見交換会の様子 全員協議会室にて

議会DX講演会

2月14日（金）に前千葉県流山市議会議長で総務省DXアドバイザーの森亮二さんをお招きするとともに、流山市議会副議長であり総務省DXアドバイザーの近藤美保さんからリモートでご参加いただき、「今こそ、変革。『議会DXによる議会大変革のすすめ』」の講演会を開催しました。

自治体DX・議会DXとは、自治体・議会・市民などがデジタル技術も活用して住民・議員本位で行政・地域・社会などを再デザイン（変革）するプロセスであることを学ぶ機会となりました。



八十里越講演会

2月7日（金）に北陸先端科学技術大学院大学・先端科学技術研究科・研究員であり加茂市政策専門員でもある出口高靖さんをお招きして、「2年後の八十里越開通に伴う加茂市の受け入れ体制について」の講演会を開催しました。

観光人材育成の講義内容や学びの特徴についてのお話があり、八十里越開通をどう考えるかについて対話形式で意見を交えることができました。観光まちづくりとして地域の個性、多様なつながり、暮らしを支え豊かにすること、未来をつくる人材と仕組みを育てることの重要性を学ぶ機会となりました。



講演会の様子 全員協議会室にて

山川教育長を再任

人事 第34号議案 最終日の本

会議で、教育委員会教育長に、山川雅巳氏を任命することに同意いたしました。

山川教育長は議場で「教育関係では、小学校、中学校の統合が控えています。また、教育ビジョンの実現に向けて頑張ってください。」とあいさつを述べました。



山川雅巳氏



子育て・健康づくり拠点施設建設について



質問の意図

・子育て・健康づくり拠点施設建設について。これから公共施設再編計画、また、学校施設の利活用も考えなくてはならない。建設よりそれらの施設を活用した方がよいのではないか。このままの計画で子ども達、若い世代が喜ぶ施設

Q 今、子育て・健康づくり拠点施設建設に向けた動きが始まっています。建設費は16億円が予定されている。これから公共施設の整理・廃止、小中学校の統廃合も行われ、それらの施設は活用できないのでしょうか。多世代、全世代より、それぞれの世代に特化した方が充実し、喜ばれると考える。多世代交流は、各地域コミュニティにおいて促進する方が有意義であり、地域が元気になると思う。施設を作って交流してねというよりも、地域の事情、背景、歴史を踏まえた交流が心のある交流と考える。

となるのか疑問がある。地域での多世代交流を。
・家庭ごみの排出量の削減に取り組み、将来のごみ処理委託料を減らせると考える。
・県内にある長岡戦災資料館での中学生への平和教育の機会を。

を再編するものです。鉄骨造の法定耐用年数38年を10年程度超過している。そのような事情からスピード感を持って整備を進めざるを得ない状況にあります。

Q ごみ処理費、市民負担を削減するためにもごみの減量が必要と考える。当局の見解を伺う。

A ごみの減量で重要なことは、ごみを出さないことです。家庭でできるごみ減量化策を周知していく方法もあるが、最も検討していかねければならないことは「ごみの有料化」です。

Q 長岡戦災資料館での中学生の学習機会を。

A 派遣は十分に価値があるものと考え、教育課程の中で検討してもらおうと思う。

「八十里越え開通に向けた加茂市の受け入れ体制」について



質問の意図

2年後の八十里越え開通に向けて、産業民生常任委員会出口高靖先生の講演を拝聴した。具体的な今後の加茂市の受け入れ体制に向けての取り組み方を提案いただき、広域連携協議会設立を提案した。

Q 八十里越え開通に向けた加茂市の受け入れ体制について

A 開通に向けた受け入れ体制として、田上町・五泉市との広域連携で魅力ある地域を造成しプラットホームを構築するため、専門的に活動を続けてこられたコーディネーターが必要不可欠である。人材の登用を望む。

A 県央エリアもしくは新潟県全域が一体となって広域的に取り組むを進めることが効率的かつ効果的であると思う。

A 加茂市の観光は、長らく商工観光課が事務局を担っていた観光協会を令和6年度に民間移行し、ようやく動き始めた。今はまだ課題整理ができていない段

子育て・健康づくり拠点複合施設建設の基本計画について、加茂文化会館前広場に建設し、道の駅的な役割（24時間トイレ等）を創ることを提案し、市長カラーが出るような施設にした方が望ましいと提案。

階であるが、外部人材の活用についても課題解決の手段として検討していく。

子育て・健康づくり拠点複合施設整備基本計画について

Q 加茂文化会館前の市民広場の廃止、五葉松の植栽を移転し、道の駅的な要素を十分に取り入れた施設の建設を望む。

A 道の駅の登録条件を満たすための機能を複合施設に新たに加えることは施設規模や事業費の面から実現することは難しい。情報発信や多世代交流スペースでのイベント開催など、導入する機能と共通する部分については検討したい。既存施設解体後の余剰地活用事業において民間提案を募集する予定。

教育に関する事柄について



大志の会
滝沢 茂秋
視聴はこちら

質問の意図

加茂市は総合計画において目指すまちの将来像を「笑顔あふれるまち加茂」と定め、教育や文化に重点を置いています。質問のテーマとした教育の充実、まさに地域の未来を夢と希望あふれるものとする、これ

教育ビジョンについて、この度の作成にいたる理由を聞く。

A

教育の指針は、単に教育の方向性を示すだけではなく、急速に進展するデジタル化やグローバル化といった時代の要請に柔軟に対応する必要がある。教育ビジョンは学校教育にとどまらず、未来に向けた持続可能で魅力ある教育施策を展開し、すべての市民が共に学び、成長できる社会の実現を目指して策定したものである。

Q

特色ある教育の一つとして加茂学という新しいプログラムが示された。その概要を伺う。

A

加茂市について知り、触れ、体験する学習をおして加茂を愛し、貢献する心を育てることを目標の一つとする教育の総称。

からの加茂市にとって重要な要素であると私は考えています。今回は特に学校教育に焦点を当て、質問を通じて加茂市が目指す理想の教育像が明確化されることを目標として臨みました。

学校統合を機に加茂市全体の地域リソースをフル活用したい。令和10年度の中学校統合に向け、中学1年の年間学習計画を作成した。令和7年度から段階的に実装する予定。

Q

部活動の地域移行について、今後の構想及び来年度の取組について伺う。

A

令和7年度の部活動及び地域クラブへの所属意向調査を3月中に行う。令和8年度に土日等の活動を完全に地域の活動へと移行するという当初の目標に変更はない。4月から地域移行の推進役として部活動コーディネーターを新規に採用し、各競技団体との連絡・調整、指導者並びに会場の確保及び持続可能な仕組みづくりを進める。

質問の意図

3月の一般質問は、①人口減少が深刻化する中、自治体が持続可能な形で行政サービスを提供し、住民福祉の水準を維持する「スマート自治体」の実現にもつながるロボティック・プロ

Q

①業務改革への取り組みについて
②RPAの導入検討状況
③親和性と費用対効果が高いと見込まれる分野・業務について

A

①引き続き職員が自ら進んで業務改善を実施するための意識啓発を図る取組を実施し、市役所全体の業務改革の推進につなげていきます。
②現在加茂市においてRPAの導入を検討している状況ではありませんが、RPAに限らず、デジタル技術を活用した業務の効率化に資する仕組みの導入については、それにより職員に過剰な負担を招くことが無いよう細心の注意を払いつつ、市民サービスの向上並びに職員負担の軽減を図るため、加茂市においてどのような分野の業務や

ロボティック・プロセス・オートメーションの活用と業務改革への取り組みについて



市政倶楽部・日本共産党
田中 雅史
視聴はこちら

セス・オートメーション（RPA）の活用について②総合計画の中でも自主財源の確保における主な取り組みとして掲げられているシティブロモーションについて質問いたしました。

作業に対して有効なのかを見極めたうえで、更なる情報収集に努めていきます。

③RPAの導入そのものが目的化することのないよう、費用対効果が高いサービス改善並びに業務改革を図るための手段としてRPAを有効に活用するため、職員が自身の従事している作業についてECRS（イクルス）の4原則に基づいて業務フローを見直すことが必要であると考えています。そのうえでRPAなどの導入の検討を進めていくことが、市民サービスの向上と業務の簡素化・効率化による働き方改革を同時に進めることにつながると考えられますので、引き続き職員の資質や能力の向上に努めていきます。

認知症の人に寄り添った 地域社会の構築について



公明党
三沢 嘉男
視聴はこちら



質問の意図

超高齢化社会が進む中、認知症ケアに効果を発揮するケア技法の1つとして、ユマニチュードが広く知られている。認知症の方・ご家族の負担軽減に少しでもつながる取組を推進したい。

マイナ保険証は、日本の医療DXを進めるうえで重要なベースとなる。市民の皆さんの利用促進に向け、正しい情報を発信し、正しく理解を深めて頂きたい。

Q 福岡市で取り入れられている認知症ケアに効果があるとの研究結果があるケア技法の1つ、ユマニチュードの普及に積極的に取り組んではいかがか。

関係者の協力が得られるのであれば、ユマニチュードの取組について福岡市の事業を参考に検討していきたい。

A こうした自治体は多数あるが、一方でプライバシーの保護や偏見につながるという課題もある。まずは、認知症の方が外出時に安全が確保できる環境づくりを進めていきたい。

Q 従来の健康保険証からマイナ

バーカードでの保険証利用を基本とする仕組みに移行された。利用促進に向けた広報活動を推進し、正しい情報発信に取り組むべきでは。

A 市のマイナ保険証登録率は全国平均より高いとは言え、更なる利用促進を図る必要がある。マイナ保険証を使うメリットについて情報の発信に努めていく。

Q 高齢者施設や高齢者世帯などに對し、希望する方がマイナ保険証を保有できる取組を推進することは重要。市の現状はどうか。

A 出張申請受付の希望を毎月調査しており、施設等への周知は十分に行われていると考える。今後もし引き続き、申請が困難な方が申請しやすい環境を提供していく。



質問の意図

今年は、戦争と平和を考えるうえで、特別な意義がある。核兵器禁止条約は2021年に発効し、今年も国連で締約国会議が開かれ、核廃絶・反戦平和の声が高まっている。今年こそ、広島へ中学生を派遣すべきだ。

就学援助制度は、経済的困難をかかえる子どもに義務教育を保障する命綱と言える。給食の無償化を学校教育の重要課題ととらえ、加茂市もその実現に取り組むときだ。

・広島市の平和記念式典へ、今年こそ中学生の派遣を
・就学援助制度を充実させ、子どもの学びの権利保障を



市政倶楽部・日本共産党
杉田 優子
視聴はこちら

Q 昨年、日本原水爆被害者団体協議会が、ノーベル平和賞を受賞した。今年は被爆80年、第二次世界大戦の節目の年でもある。今年こそ中学生を広島市の平和記念式典へ派遣すべき年ではないかと思うが、どうか。

派遣にかかる予算確保や引率体制、事前事後学習プログラムづくり、各中学校の平和学習との位置づけ等、整備すべき課題が多い。中学校統合までの間の実施は厳しいと考えている。

A 就学援助制度は、法に基づいた子どもの学習を保障する制度。加茂市は文科省が定めた13費目のうち12費目を実施。卒業アルバムも文科省が定めた費目。来年度から実施してはどうか。

Q 就学援助の範囲を1・5倍程度まで広げてはどうか。

県内で1・3倍を超える自治体が2団体に留まっている現状から、当面は現在の1・3倍のままとしたい。

A 学校給食の無償化は国会でも取り上げられている。短期間でも一歩踏み出したらどうか。

Q 衆議院予算委員会での石破首相の給食費無償化の発言を受けて、加茂市としても令和8年度からの給食費無償化に備え、国の動向を注視しつつ、市の財政負担の有無を含め準備を進めていく。

A 県内で卒業アルバム代を補助対

子育て健康づくり拠点複合施設 整備基本計画案について



会派青天
山田 宗
視聴はこちら

POINT!! 質問の意図

人口減少、少子化の中、事業費16億円、延床面積2800㎡の子育て健康づくり拠点複合施設が必要なのか。そして、維持管理費、費用対効果と需要が不

Q 令和6年11月に実施された新施設に対するアンケートは、統計上有意性はあるか。

A 回答数は96件であり、統計的有意性という観点ではデータの信頼性が低いという意見もあると思うが、一定のニーズの傾向を把握できた。

Q 新施設の年間維持管理費はいくらになると想定しているか。

A 試算の比較対象を2240㎡の加茂市立図書館とすると、年間維持費は1200万から1300万程度と見込んでいる。

Q 令和12年に廃校予定の加茂小学校の想定される解体費用、利活用はどうなる予定か。

A 廃校後は公共施設として利活用を検討しており、解体する予定はない。仮に解体する場合、6946㎡で約3億7500万円となる。

明慮なまま計画を進めるべきではない。新設ではなく、廃校予定の加茂小学校に集約したほうが良いのではないかを問いました。

Q 用途廃止となる公共施設は、解体をする予定があるのか。新設の前に、公共施設の後始末や出口について目処を立てるべきではないか。

A 現在作成中の公共施設再編アクションプラン案において、処分方針について言及している。

Q 都市計画マスタープランのコンパクトシティ構想に従うのであれば、建設地は西加茂の市役所市有地内ではなく、人口密度がより高い加茂小学校であるべきではないか。

A 既に公共施設群が立地している市役所周辺を、「市役所周辺への公共施設や商業施設などの集約や拠点性の強化による住民利便性の維持と暮らしの豊かさの向上」として地域づくりの方針を位置づけ、建設予定地に選定した。

加茂市子育て・健康づくり拠点 複合施設について



会派青天
森 友和
視聴はこちら

POINT!! 質問の意図

保健センターを主軸とした複合施設的设计費を含む予算案については、公共施設再編アクションプランに示される全貌を確認したうえでこそ、建設の良し悪しを判断できるのではないか。

Q 公共施設全体のなかでの加茂市子育て・健康づくり拠点複合施設の在り方は、アクションプランに含まれる重要事項の一つであると考えれば、公共施設再編アクションプランの作成と説明会の実施を先行するのが良いのではないか。

A 母子健康センターは、雨漏り、諸室や階段などの傾き、ひび割れなど建物本体の老朽化による劣化が著しく進行している。早期の施設更新の必要性と併せて、これまで加茂市では未整備であった保健センター機能の新規整備を行うことが目的の根本にある。小中学校の統廃合や公共施設再編アクションプラン策定を待たず、スピード感を持って整備を進めざるを得ない状況

また、建設にあたってはDB方式を採用すること。地域の事業者には、どの程度仕事回るのか、事業者選定の為の募集要項には、地元経済の活性化の為の配慮がどこまで可能なかを問いました。

Q 加茂市子育て・健康づくり拠点複合施設を建設する場合について。事業費約16億円の内、どの程度の事業費、仕事量が地元業者に割り当てられる事を想定されているのか。

A 地元事業者への受注機会を拡大して地域経済の活性化を図ることはもちろん重要だが、民間事業者の技術やノウハウを最大限活用するためには、対象を広げることやはり重要である。他自治体の事例を参考にしつつ、本施設整備の特徴、求められる品質やサービス、地域の実情などを考慮しながら、最も適した方法を検討していきたい。

3月定例会 議案等審議結果

議案番号	件 名	結 果
議 員 提 出 議 案		
1	加茂市議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正について	原案可決
2	加茂市議会政務活動費の交付に関する規則の一部改正について	〃
3	加茂市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について	〃
4	年金積立金を活用して安心して生活できる公的年金を求める意見書	〃
5	加茂市議会の議員の定数を定める条例の一部改正について	継続審査
6	第3号議案 令和7年度加茂市一般会計予算 に対する附帯決議	原案可決
市 長 提 出 議 案		
2	専決処分の承認について（令和6年度加茂市一般会計補正予算第11号）	承 認
3	令和7年度加茂市一般会計予算	原案可決
4	令和7年度加茂市国民健康保険特別会計予算	〃
5	令和7年度加茂市後期高齢者医療特別会計予算	〃
6	令和7年度加茂市宅地造成事業特別会計予算	〃
7	令和7年度加茂市介護保険特別会計予算	〃
8	令和7年度加茂市水道事業会計予算	〃
9	令和7年度加茂市下水道事業会計予算	〃
10	令和6年度加茂市一般会計補正予算（第12号）	〃
11	令和6年度加茂市介護保険特別会計補正予算（第4号）	〃
12	令和6年度加茂市下水道事業会計補正予算（第4号）	〃
13	令和7年度加茂市一般会計補正予算（第1号）	〃
14	令和7年度加茂市水道事業会計補正予算（第1号）	〃
15	加茂市行政手続条例の制定について	〃
16	加茂市男女共同参画及び多様性を尊重する社会づくり条例の制定について	〃
17	加茂市教育支援センターやすらぎ条例の制定について	〃
18	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について	〃
19	新潟県加茂市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	〃
20	新潟県加茂市職員の給与に関する条例の一部改正について	〃
21	新潟県加茂市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	〃
22	新潟県加茂市職員の退職手当支給に関する条例の一部改正について	〃
23	加茂市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部改正について	〃
24	加茂市教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正について	〃
25	加茂市体育施設条例の一部改正について	〃
26	加茂市営市民バス条例の一部改正について	〃
27	加茂市デマンド型乗合タクシーの運行に関する条例の一部改正について	〃
28	加茂市空家等及び空地の適切な管理に関する条例の一部改正について	〃
29	加茂市下水道条例の一部改正について	〃
30	加茂市水道給水条例の一部改正について	〃
31	加茂市罹災救助基金条例等の廃止について	〃
32	加茂市における介護予防通所介護、介護予防通所リハビリテーション及び介護予防・日常生活総合支援事業における第1号通所事業の利用料の助成に関する条例の廃止について	〃
33	加茂勤労者体育センター条例の廃止について	〃
34	教育長の任命について（山川雅巳氏）	同 意
35	令和6年度加茂市一般会計補正予算（第13号）	原案可決
審 議 し た 請 願		
1	年金積立金を活用して安心して生活できる公的年金を求める請願	採 択

議員賛否の状況 審議結果の賛否が分かれた議案等（上の表の網かけ部分）について、賛否を公表します。

議案番号等	採決の種類	結 果	賛 成	反 対	棄 権	会派青天				大志の会			市政倶楽部・日本共産党				国民民主の会	公明党
						山田 宗	森 友和	大橋 一久	白川 克広	佐藤 俊夫	滝沢 茂秋	森山 一理	田中 雅史	近藤 ゆみ	関 龍雄	杉田 優子	森川 豊	三沢 嘉男
4	意見書	起立	可決	10	2	0	●	○	●	—	○	○	○	○	○	○	○	○
5	条例	起立	継続審査	9	3	0	●	●	●	—	○	○	○	○	○	○	○	○
3	予算（修正部分）	起立	否決	3	9	0	○	○	○	—	●	●	●	●	●	●	●	●
3	予算（上記以外）	起立	可決	12	0	0	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
8	予算	起立	可決	11	1	0	○	○	○	—	○	○	○	○	○	●	○	○
9	予算	起立	可決	11	1	0	○	○	○	—	○	○	○	○	○	●	○	○
21	条例	起立	可決	11	1	0	○	○	●	—	○	○	○	○	○	○	○	○
29	条例	起立	可決	11	1	0	○	○	○	—	○	○	○	○	○	●	○	○
30	条例	起立	可決	11	1	0	○	○	○	—	○	○	○	○	○	●	○	○
1	請願	起立	採択	10	2	0	●	○	●	—	○	○	○	○	○	○	○	○

※○は賛成、●は反対、白川克広議長は採決に加わらない。※採決の種類：起立は起立採決。